



1 第4号满踪第5地点 (第248图59)

2 第4号满踪第5地点 (第248图60)



1 第4号溝跡第5地点  
(第248图62)



2 第4号溝跡第6地点  
(第262图151)



3 第4号溝跡第6地点 (第262图153)



4 第4号溝跡第6地点 (第262图154)



5 第4号溝跡第6地点  
(第262图156)



1 第4号溝跡第6地点 (第262图149)



3 第4号溝跡第6地点 (第262图155)



2 第4号溝跡第6地点 (第262图150)



4 第4号溝跡第6地点 (第263图158)



1 第4号溝跡第6地点 (第263图159)



3 第4号溝跡第6地点 (第264图161)



2 第4号溝跡第6地点 (第267图171)



4 第4号溝跡第6地点 (第267图172)



2 第4号溝跡第6地点 (第267图171)



4 第4号溝跡第6地点 (第267图172)



1 第4号溝跡第6地点 (第263图160)



3 第4号溝跡  
第6地点  
(第266图164)



2 第4号溝跡第6地点 (第265图163)



4 第4号溝跡第6地点  
(第266图167)



1 第4号沟跡第6地点 (第263图157)



2 第4号沟跡第6地点 (第265图162)



3 第4号沟跡  
第6地点  
(第267图169)



1 第4号溝跡第6地点 (第266图165)



2 第4号溝跡第6地点 (第266图166)



1 第4号溝跡第6地点 (第267图168)





1 第4号溝跡第6地点  
(第267图170)



3 第4号溝跡第6地点  
(第268图176)



2 第4号溝跡第6地点  
(第267图173)



4 第4号溝跡第6地点  
(第267图174)



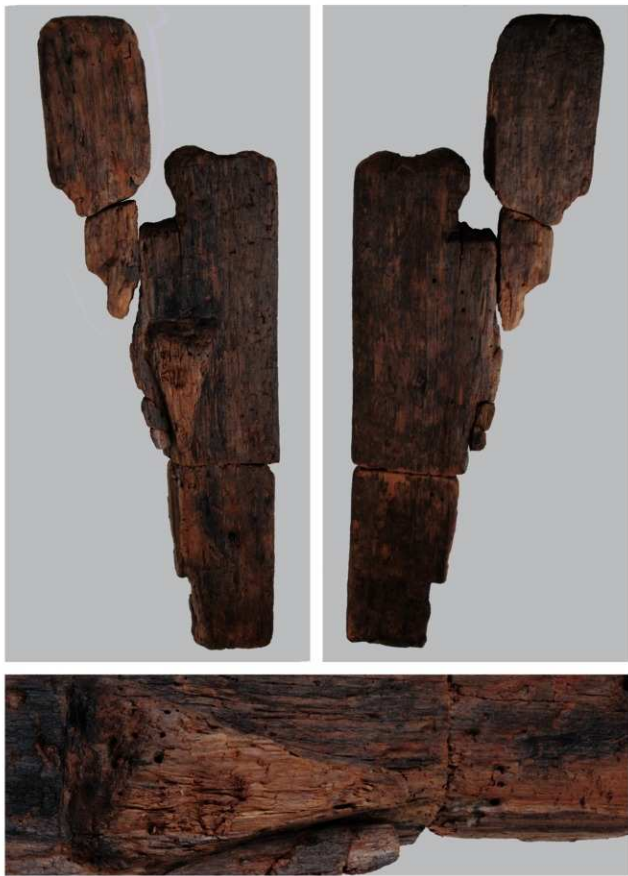
5 第4号溝跡第6地点  
(第271图190)



1 第4号溝跡第6地点 (第268图175)



2 第4号溝跡第6地点 (第269图179)



1 第4号满踪第6地点(第269图180)



1 第4号溝跡第6地点 (第270图181)



1 第4号沟跡第6地点 (第270图181) 拡大



1 第4号溝跡第6地点 (第268图177)



3 第4号溝跡第6地点  
(第268图178)



5 第4号溝跡第6地点  
(第270图182)



2 第4号溝跡第6地点 (第271图186)



4 第4号溝跡第6地点 (第271图187)



1 第4号溝跡第6地点  
(第271图183)



3 第4号溝跡第6地点 (第271图184)



2 第4号溝跡第6地点  
(第271图188)



4 第4号溝跡第6地点 (第271图189)





1 第4号满踪第6地点 (第271图192) 3 第4号满踪第6地点 (第271图191)



2 第4号满踪第6地点 (第272图197) 4 第4号满踪第6地点 (第272图198) 5 第4号满踪第6地点 (第272图201)





1 第4号溝跡第6地点 (第271图193)



3 第4号溝跡第6地点 (第272图194)



2 第4号溝跡第6地点 (第272图199)



4 第4号溝跡第6地点 (第272图206)



1 第4号溝跡第6地点 (第272图195)



4 第4号溝跡第6地点 (第272图200)



2 第4号溝跡第6地点  
(第272图203)



3 第4号溝跡第6地点  
(第272图204)



5 第4号溝跡第6地点  
(第272图205)



1 第4号溝跡第6地点 (第273图207)



2 第4号溝跡第6地点  
(第272图202)



4 第4号溝跡第6地点 (第273图208)



3 第4号溝跡第6地点  
(第272图196)



5 第4号溝跡第7地点 (第285图53)





1 第4号溝跡第7地点 (第285图54)



2 第4号溝跡第7地点 (第285图55)



3 第4号溝跡第7地点 (第285图56)



4 第4号溝跡第7地点 (第285图57)



5 第4号溝跡  
第7地点  
(第286图60)



1 第4号满踪第7地点  
(第285图58)

2 第4号满踪第7地点 (第286图62)



1 第4号溝跡  
第7地点 (第286图61)



2 第4号溝跡第7地点 (第286图63)



3 第4号溝跡  
第7地点  
(第288图68)



1 第4号溝跡第7地点 (第286图59)



2 第4号溝跡第7地点 (第290图82)



3 第4号溝跡第7地点 (第290图83)



1 第4号溝跡第7地点 (第287图64)





1 第4号满踪第7地点 (第288图65)



1 第4号溝跡第7地点(第288图65)拡大



1 第4号溝跡第7地点 (第288图66)



3 第4号溝跡第7地点 (第289图69)



2 第4号溝跡第7地点 (第289图71)



4 第4号溝跡第7地点 (第290图77)



1 第4号溝跡第7地点 (第289图70) 3 第4号溝跡第7地点 (第290图73)



2 第4号溝跡第7地点 (第288图67)



4 第4号溝跡第7地点 (第290图75)



5 第4号溝跡第7地点 (第290图78)



1 第4号溝跡第7地点  
(第290图74)



4 第4号溝跡第7地点  
(第290图76)



5 第4号溝跡第7地点  
(第290图80)



2 第4号溝跡第7地点 (第289图72)



3 第4号溝跡第7地点 (第290图79)



6 第4号溝跡第7地点 (第290图81)



1 第4号溝跡地点不明(第292图5)



4 第4号溝跡地点不明(第292图6)



2 第4号溝跡地点不明(第292图7)



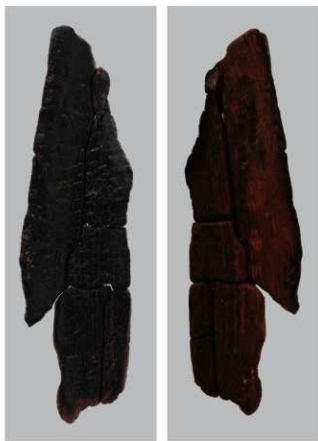
5 第4号溝跡地点不明(第293图15)



3 第4号溝跡地点不明(第294图18)



6 第4号溝跡地点不明(第292图8)



1 第4号沟迹地点不明 (第292图9)



2 第4号沟迹地点不明 (第293图12)



3 第4号沟迹地点不明 (第292图10)



1 第4号溝跡地点不明 (第293图16)



3 第4号溝跡地点不明 (第294图24)



2 第4号溝跡地点不明 (第294图19)



4 第4号溝跡地点不明 (第293图14)







1 第4号溝跡  
地点不明 (第292图11)



2 第4号溝跡地点不明  
(第294图22)



4 第4号溝跡地点不明 (第293图13)



3 第4号溝跡地点不明 (第293图17)





1 第4号满迹地点不明 (第294图20)



2 第4号满迹地点不明 (第294图21)



3 第4号满迹地点不明 (第294图23)



1 第4号溝跡第2地点 (多孔菌科子实体)



2 第4号溝跡第4地点 (多孔菌科子实体)



3 第4号溝跡第4地点 (多孔菌科子实体)

## 報告書抄録

ふりがな	しろしきいせき							
書名	城敷遺跡Ⅱ							
副書名	高坂駅東口第二特定土地区画整理事業地内埋蔵文化財発掘調査報告Ⅲ							
シリーズ名	埼玉県埋蔵文化財調査事業団報告書							
シリーズ番号	第382集							
編著者名	山本 靖							
編集機関	財団法人 埼玉県埋蔵文化財調査事業団							
所在地	〒369-0108 埼玉県熊谷市船木台四丁目4番地1 TEL 0493-39-3955							
発行年月日	西暦2011(平成23)年8月30日							
ふりがな 所収遺跡	ふりがな 所在地	コード		北緯	東経	調査期間	調査面積 (㎡)	調査原因
		市町村	遺跡番号					
しろしきいせき 城敷遺跡 (第1・2・3次)	さいたまけいひんりがしまつやまし 埼玉県東松山市 おあぶらごたかきか ほんら 大字高坂347番地 ほか 1他	11212	370	36°00'24"	140°15'38"	20030408 \ 20030430  20030801 \ 20040324  20040408 \ 20050331  20050401 \ 20060331  20080916 \ 20081031	22,300	土地区画 整理
所収遺跡	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物		特記事項		
城敷遺跡	集落跡	古墳時代	竪穴住居跡 84軒	土師器 須恵器 石製	陶色産・東海産の初期須恵器出土。 大溝跡から多量の土器・木製品が出土。 石製模造品と滑石製白玉製作剥片の集中地点2箇所発見。 掘立柱建物跡と同時代の建築部材が大溝跡から出土。			
			掘立柱建物跡 13棟	模造品				
			柱穴列 1列	鉄製品 石製品 木製				
			土壇 9基	品				
			溝跡 1条					
			大溝跡 1条4地点					
			滑石製品集中地点 2箇所					
		中・近世	溝跡 2条	板碑 磁器 陶器				
		時期不明	土壇 23基					
			溝跡 9条					
			ピット 多数					

要 約	
-----	--

城敷遺跡は、埼玉県東松山市高坂に位置する。都幾川右岸の自然堤防上に立地し、標高は19m前後である。北側に隣接する銭塚遺跡とは、同一の遺跡と捉えられる。また東方約500mに所在する反町遺跡は有機的な関連をもっていた遺跡で、城敷・銭塚・反町の3遺跡でひとつの遺跡群が構成されていたと考えられる。

城敷遺跡は、古墳時代前期と古墳時代中期後半～古墳時代後期初頭の二つの時期に栄えた集落である。集落の中を大溝（河川流路）が蛇行して流れており、大溝には、堰状施設や護岸施設によって水位や流路を制御し、水辺に昇降するための階段状施設などが設けられていた。大溝内からは、多量の土器や木製品とともに祭祀の跡も発見され、集落と大溝が一体となって機能していたことが判明した。出土した木製の農具は、日常的に木の道具が使われていたことを伝えている。また、重厚な扉板や建築部材が数多く発見され、大規模な建造物の存在を予想させる。

特筆されるのは、古墳時代中期後半以降の集落に伴う、2箇所の滑石製品集中地点が発見されたことである。剣形品・有孔円板・白玉とともに、未成品や製作途上の欠損品・剥片が2,000点以上も発見されている。また、8軒の住居跡からも同様の製作途上の欠損品・剥片が多数出土しており、この時期の滑石製品の工房跡として重要な例と言える。

古墳時代の土器には、陶邑産と東海産と推定される初期須恵器が多く含まれている。中には、破砕されたような状態で出土したものがあり、何らかの儀式に用いられたと考えられる。

埼玉県埋蔵文化財調査事業団報告書 第382集

## 城 敷 遺 跡 II

高坂駅東口第二特定土地地区西整理事業地内  
埋蔵文化財発掘調査報告書  
(第2分冊)

平成23年8月25日 印刷

平成23年8月30日 発行

発行/財団法人 埼玉県埋蔵文化財調査事業団  
〒369-0108 埼玉県熊谷市船木台四丁目4番地1  
電話 0493-39-3955

<http://www.saimaibun.or.jp>

印刷/株式会社 文化新聞社